市議会だより

議会の取り組みをお知らせする情報誌

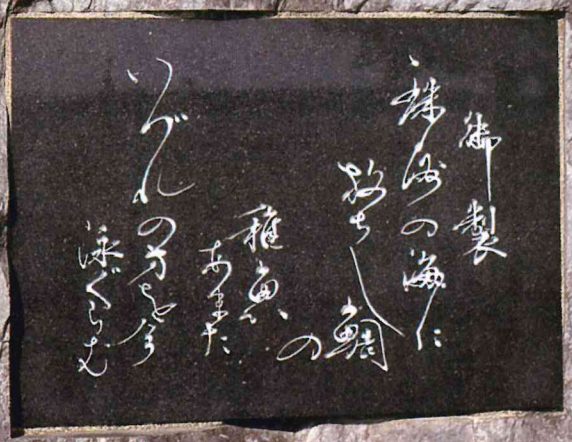
すず市議会だより

No.8

平成30年
5月1日発行

御製

「珠洲の海に　放ちし鯛の　稚魚あまた
いづれの方を　今泳ぐらむ」



議長就任のごあいさつ

珠洲市議会議長

三盃　三千三

この度、議員各位のご推挙により、第38代市議会議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともにその重責を痛感し、身の引き締まる思いであります。もとより微力ではございますが、地方自治の進展と住民福祉の向上のため、専心努力いたす所存であります。

さて、昨年開催されました「奥能登国際芸術祭」により、本市の魅力が向上し、珠洲市創生に向けた取り組みがますます重要になってきております。また、次代を担う子どもたちの育成や移住定住対策、積極的な雇用・就労支援など、取り組むべき課題が山積しております。

このような状況のなか、珠洲市議会では市民の皆さまに議会の活動をわかりやすく発信し、開かれた議会を目指すとともに、議会の機能を高め、その役割を十分発揮できるようさまざまな改革を進めているところでございます。

今後は、円滑な議会運営に誠心誠意努力するとともに、議会の活性化に向け積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、市民の皆さまには、さらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつといたします。

平成30年 第1回 3月定例会

会期:平成30年2月27日～3月16日

平成30年度一般会計予算115億3,900万円
新図書館整備事業に9億9,303万1千円

平成30年2月27日から18日間の会期で3月定例会を開催し、議会議案1件、平成30年度一般会計予算案など市長提出議案35件をすべて原案のとおり可決、市長提出議案1件に同意しました。

平成30年度予算常任委員会

予算審査は従来、総務・教育民生・産業建設の3つの常任委員会に分割付託されてきましたが、昨年度より議会改革の一環として、全ての議員を委員とした予算常任委員会を設け、予算全体を集中して審議する方法に変更しました。

これは審議に時間がかかりますが、各議員が所属委員会にかかわる予算だけでなく、予算全体の詳細を把握し適切な議会活動に活かせるよう配慮されたものです。

予算常任委員会は、会期中の3月7日から9日までの3日間にわたって、平成30年度一般会計、特別会計、企業会計の各予算案、平成29年度各会計の補正予算案について審議しました。

特に、平成30年度の各予算案は、〝珠洲市創生〟の推進を図るため、平成30年度主要施策にある5つの基本目標ごとにどのような事業を展開し必要な予算を配分するか、珠洲市の一年間の市政の在り方を決める重要なものであり、各課室局ごとに、歳入・歳出額、主要施策、前年度との比較などの詳細な説明を受けた後、活発な質疑・応答が行われ、慎重に審議を行いました。

珠洲市議会議員定数の削減

現行14名 ⬇ 改正後12名

珠洲市議会では、議会の活性化・可視化のため、基本条例や倫理規程など、議会独自の規程整備に向け議論を進めています。そうした中、議員定数について、さらなる人口減少が予測される中、議会としてもより少ない議員数で、その役割を果たすことが求められています。

一方で、地方分権の進展による議会の役割はますます高まることから、削減数を2名にとどめて、議会機能の一層の強化を図り、来春にも執行が予定されている珠洲市議会議員選挙より適用するものです。

また、議員定数が削減することに伴い、現行の常任委員会の構成員数も減少することから、現在の3常任委員会の在り方についても、今後、議会改革特別委員会で議論していく予定です。

議長就任に伴う委員の変更

三盃三千三氏が議長に就任したことに伴い、議会運営委員会委員及び地域創生特別委員会委員に、赤坂敏昭氏が就任しました。

3月定例会の議決等結果

■全会一致で議決された議案等

件名			備考
議会議案第１号	珠洲市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第２号	平成 30 年度珠洲市国民健康保険特別会計予算	原案可決	
議案第３号	平成 30 年度珠洲市下水道事業特別会計予算	原案可決	
議案第４号	平成 30 年度珠洲市介護保険特別会計予算	原案可決	
議案第５号	平成 30 年度珠洲市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	
議案第６号	平成 30 年度珠洲市賃貸住宅事業特別会計予算	原案可決	
議案第７号	平成 30 年度珠洲市病院事業会計予算	原案可決	
議案第８号	平成 30 年度珠洲市水道事業会計予算	原案可決	
議案第９号	平成 29 年度珠洲市一般会計補正予算（第５号）	原案可決	
議案第 10 号	平成 29 年度珠洲市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決	
議案第 11 号	平成 29 年度珠洲市下水道事業特別会計補正予算（第４号）	原案可決	
議案第 12 号	平成 29 年度珠洲市介護保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決	
議案第 13 号	平成 29 年度珠洲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第３号）	原案可決	
議案第 14 号	平成 29 年度珠洲市賃貸住宅事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	
議案第 15 号	平成 29 年度珠洲市病院事業会計補正予算（第２号）	原案可決	
議案第 16 号	平成 29 年度珠洲市水道事業会計補正予算（２号）	原案可決	
議案第 17 号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 18 号	職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 19 号	珠洲市個人情報保護条例及び珠洲市情報公開条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 20 号	珠洲市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 21 号	珠洲市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 22 号	珠洲市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 23 号	珠洲市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 24 号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例について	原案可決	
議案第 25 号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	原案可決	
議案第 26 号	珠洲市立公民館設置条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 27 号	珠洲市美術品購入基金条例を廃止する条例について	原案可決	
議案第 28 号	指定管理者の指定について	原案可決	東山中飲料水供給施設
議案第 29 号	指定管理者の指定について	原案可決	珠洲鉢ケ崎温泉 元気の湯
議案第 30 号	指定管理者の指定について	原案可決	活性化拠点施設 わかやま
議案第 31 号	指定管理者の指定について	原案可決	珠洲鉢ヶ崎ウエルネスセンター
議案第 32 号	指定管理者の指定について	原案可決	揚げ浜館、製塩施設
議案第 33 号	市道の路線認定について	原案可決	市道 740 号線、市道 741 号線
議案第 34 号	市道の路線変更について	原案可決	市道 241 号線、市道 304 号線
議案第 35 号	市道の路線廃止について	原案可決	市道 56-1 号線、市道 92 号線、市道 146 号線、市道 434 号線
議案第 36 号	珠洲公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	山下清一氏

■賛否が分かれた議案等

※議長は採決に加わりません

議案名		番匠雅典	濱野隆三	米田幸助	北野進	濱田隆伸	三盃三千三	大兼政忠男	中板秀一郎	上野良夫	寺井秀樹	赤坂敏昭	向山忠秀	小泊辰男	森井洋光	議決結果
議案第１号	平成 30 年度珠洲市一般会計予算	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	―	○	×	○	原案可決
	議長の辞職許可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	―	○	○	○	許可

○賛成　×反対

■選挙結果

選挙第１号　　議長の選挙について　　当選　　三盃　三千三

常任委員会の主な審査内容

※審議過程での主な質疑応答の一部を紹介します。

予算常任委員会審査内容

総務常任委員会所管

問 **大学との研究で古民家調査を実施することになっているが、調査費100万円の内訳は何か。**

答 大学との共同研究について、飯田町における古民家調査は終了しているが、飯田町と若山町とのつながりを踏まえた調査を予定している。また、自動運転のプリウスについてもワゴンタイプに変更し、市民の皆さまに試乗していただく予定としている。

問 **奥能登国際芸術祭の作品が今後も常設展示される場所を確認したい。**

答 旧清水保育所、旧飯塚保育所、旧飯田駅、旧上戸駅、珠洲焼資料館、4カ所のバス停となっている。また、旧日置公民館や八木邸、旧蛸島駅付近についても協議中である。

問 **防火水槽の新設及び有蓋化はどれだけ予定されているのか。**

答 防火水槽の新設は、4カ所申請している。また、有蓋化されていない16基のうち、平成30年度は2カ所を予定している。

問 **平成30年度で北海道江差町との友好都市提携20周年を迎えるが、記念セレモニー等は行われるのか。**

答 10周年は珠洲市で記念式典を実施した。20周年は江差町で開催される予定である。内容は協議中であるが、数名の方に参加をしていただける旅費を計上してある。

教育民生常任委員会所管

問 **部活動指導員の配置について、3人予定されているが、どのような方で契約内容はどうなるのか。**

答 部活動指導経験のある退職教員を考えている。週6時間程度で、勤務体系はそれぞれの学校の現状にあわせ相談することとしている。

問 **手話通訳設置事業と配置事業の違いを説明してほしい。**

答 設置事業は1市2町で1名の手話通訳士を派遣してもらい、定期的に市町を巡回している。配置事業は、手話通訳士がいない時間（時間外の病院受診等）に、臨時に手話通訳士を派遣してもらう事業である。

問 **珠洲市内でプレミアムパスポートが使える場所が少ないと思う。まずは公共施設などで積極的に導入してはどうか。**

答 いしかわ結婚・子育て支援財団で、県下一円に取り組んでいる。機会を見て要望していきたい。

問 **三崎中学校大規模改造事業費の詳細を知りたい。**

答 平成29年度に校舎の長寿命化を図るため現況調査を実施した。実施設計を行い平成31年度以降に改修する予定としている。

問 **放課後子ども教室について、国や県からの補助はどうなるのか。**

答 県の補助金は人件費以外の経費の3分の2が対象となる。地域の方が講師となられる場合は人件費ではなく謝礼となり補助対象になる。

産業建設常任委員会所管

問 **下水道整備事業で、接続率が低いままの地域があるが、その要因と今後の対応について問う。**

答 平成3年度から飯田地区で供用を開始した。最近は蛸島地区が供用を開始している。低い接続率のところは高齢者も多く、水回りを工事するとなれば、工事費の負担も大きい。補助金を10万円に上げ、チラシ等の配布も行ったがあまり件数的に伸びていない状況である。今後は、実績を踏まえ、計画を立てたい。

問 **野々江総合公園内にある市営グラウンドの工事は、いつ頃を予定しているのか。**

答 緑丘中学校の体育祭の後、工事にかかりたいと考えている。

問 **海苔面造成事業費で、100万円を計上しているが、効果的に使われているのか。**

答 この事業は、市が原材料のコンクリートを支給し、地元が造成を行っているもの。以前に造成したコンクリートが劣化し、岩海苔の生育や収穫作業に支障を来たすため、10数年かけて各地区の造成地をローテーションしながら修復に努めているもので、今後も継続して支援していきたい。

問 **今年のまるかじりは、目玉となるイベントがなかったように思う。**

答 昨年は「まつり御膳」を提供した。今年は前夜祭に「まつり弁当」を皆さんに食べていただいた。好評であったと感じている。

各常任委員会審査内容

総務常任委員会

問 総合病院看護師の勤務体制を、3交代制から2交代制に移行することにより、働きやすくなることは理解できるが、長時間労働になったりはしないのか。

答 2交代制のシフトを組むことになるが、勤務間内に90分の休憩を入れるなど、労働基準法に抵触しないシステムになっている。また、他の病院でも多く導入されている勤務体制であるので、問題はないと考えている。

問 個人情報保護条例は、条例改正に伴いどのような対応をするのか。

答 国が定める法律の一部改正に伴う条例の改正であり、特別新たに対応をするものではないが、個人情報の取り扱いについては、今後も厳正に取り扱いを行う。

問 国民健康保険税の見直しで、課税方式を4方式から3方式に変更することについて、詳しく説明を求める。

答 国民健康保険は、加入年齢層が高くて所得水準が低かったり、市町村ごとに格差があることから、平成30年度より石川県に納付金を支払う制度にかわる。これに伴い、4方式から3方式に変更することとなった。資産割の廃止は、県の運営方針によるもので、県内自治体においても、資産割を廃止する方向で動いている。

教育民生常任委員会

問 珠洲市総合病院での看護師の充足率はどれくらいか。

答 国で決められた基準は満たしている。3階東病棟の休棟により、比較的手厚い看護ができている。また、4月から新たな職員として12名採用するため、十分な人員は確保できる。

問 公民館の設置条例の変更により公民館の運営が大きく変わるのか。

答 現在の振興協力委員会はそのまま設置することとしている。昨年までは、いったん運営費を支払い、実績報告書を提出してもらい精算をしていた。今後は、その都度教育委員会から支払うこととなる。地域の実情を考慮した運営に努める。

問 介護保険の改正で保険料が引き上げとなったが、今後の見通しはどうなるのか。

答 今回の引き上げはやむをえないが、市民の皆さまの負担軽減となるよう、少しでも抑制を図っていきたいと考えている。

問 指定管理については3年間を基本としているが、「元気の湯」の契約期間を1年としているのはなぜか。

答 元気の湯は、必ずしも営利を追求しない健康増進施設であり、3年間を見通した管理料を設定することが難しい。そのため、単年度契約の指定管理としている。

産業建設常任委員会

問 活性化拠点施設わかやまの指定管理料の中に、人件費などの運営費が含まれているのか。また、運営以外でどのような支援をしているのか。

答 運営費を支援することはない。お客さんを呼び込む取り組みを後押しし、収入につながる支援を行いたいと考えている。

問 珠洲鉢ケ崎ホテル株式会社のスポーツクラブを利用している方はどれくらいいるのか。

答 会員数については、今年の10月から12月の実績でみると、全体で約320人である。内訳は、一般が240人、ジュニアスクールが80人となっている。年度当初は、一般で260人、ジュニアスクールで120人いたが、スタッフの1名減により、ジュニアスクールを縮小している。それに応じて、売り上げも少し落ち込んでいる状況である。

問 能登立国1300年に関連して、市内飲食店でのあんこうを使ったメニューの提供や、あんこう祭りの位置付けについて、観光交流課としてどのように考えているのか。

答 能登立国1300年にあわせ、輪島市はふぐ、能登町はぶり、珠洲市は何かとなれば、11月から冬のシーズンを中心としてあんこうの水揚げがある。あんこうは比較的保存がきくため、1月のあんこう祭りを含めて、全面的に打ち出していきたいと考えている。

3月定例会　一般質問

一般質問に10人が登壇
奥能登国際芸術祭や、新図書館の整備など
活発な議論が展開されました。

3月6日、本会議では10氏が一般質問に登壇しました。各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します（質問順に掲載しています）。

※一般質問とは、議員が市長などに対し、市の政策や各事業などについて、その方針や実施状況を問うことです。

北朝鮮等の不法侵入者への対応について

Q 北朝鮮からの漂着木造船が昨年1年間で100隻以上、今年に入ってからの県内沿岸への漂着木造船は2月末で16件となっている。秋田県由利本荘市では、漂着漁民が上陸し、民家の呼鈴を押していることや、金沢市の安原海岸での遺体は軍人の可能性があった。検疫を受けていない漁民は衛生環境の劣悪さもあり、さまざまな病気を体内に忍ばせている可能性がある。不法侵入者への対応について市独自のマニュアルを作成せよ。

A 市民の皆さまの生命及び財産を保護し、生活への影響を最小限に止めるべく、避難計画や関係機関との連携等を盛り込んだ、珠洲市国民保護計画を策定している。（泉谷市長）

向山 忠秀 議員　一括方式

新国民健康保険制度の保険税率について

Q 本年4月から実施される新国民健康保険制度は、これまでの保険税算定基準の、所得割、資産割、均等割、平等割を計算した4方式から、資産割を廃止して3方式としているが、この方式では被保険者の保険料負担は値上げとなる。本市の保険税率を伺う。

A 国民健康保険事業基金を取り崩し、1人当たりの保険税額を過去5年間の平均程度に抑えたいと考えている。基金残高は現在約7億1、400万円で保険税額の抑制に約2、700万円、保険事業の活用に約1、400万円を取り崩す。（泉谷市長）

1月寒波による漏水被害について

Q 強烈な寒波の影響で水道管の凍結・破裂により、市内全域で漏水被害が多発し断水という事態も発生した。被害状況と今後の対策について聞く。

A 漏水被害は976件、そのうち市の公共施設においては保育所や小中学校、公園のトイレなど33件、市が管理する水道本管は特に被害はなかった。今後、水道施設監視システムによる遠隔操作機能の拡充等を図りたい。また、凍結の防止対策や家を長期間空ける際の閉栓届の提出等を、広報すずやケーブルテレビ等を通じて、より分かりやすくお知らせしていく。（泉谷市長）

生産性向上特別措置法案の成立を見据えた珠洲市の対応について

Q 今国会に提出された法案の成立を見据えた導入計画の策定や固定資産税の軽減を検討しているのか。また、半島振興法や過疎地域自立促進特別措置法との違いやメリットについて聞く。

A 本市の産業振興と雇用促進を図るため固定資産税特例率を3年間ゼロとする方針で、導入促進基本計画を策定したいと考えている。この法案は、対象業種の限定が無く、年平均3％以上の労働生産性の向上が見込まれる設備投資であれば対象となる点が大きく異なり、企業は補助金の優先採択や補助率の上乗せが受けられる。（泉谷市長）

寺井 秀樹 議員　一括方式

奥能登国際芸術祭について

Q 海外も含め県外からの来訪者が約27％に留まった理由と今後の対策を問う。

A 初めての開催による認知度の低さと、交通機関の利便性の悪さ、本市までの交通アクセスの情報不足が考えられる。今後の対策としては、交通各社や旅行エージェント等との連携を強化し、情報提供を確実かつスムーズに行う仕組みづくりを図りたい。（泉谷市長）

Q 石川県内へ及ぼした経済効果を問う。

A 珠洲市内への経済効果約5億2千万円を含め約9億円と推計している。能登空港の搭乗率も期間中4・9ポイント増となった。（泉谷市長）

中板 秀一郎 議員
一括方式

ふるさと納税について

Q 今年度の見込みと今後の方針を問う。

A 2月末現在で5、376万1千円となっており、約5、500万円となる見込み。返礼品目の追加や情報発信の充実を図りたい。（泉谷市長）

新図書館の整備について

Q 専任の図書館長を置くべきではないか。

A 新図書館は、本市の知の拠点としてふさわしい施設であり、その管理運営を適切に行うには、要となる専任の館長の配置が必要と考えている。人選については、新図書館完成までに検討したい。（山下教育委員会事務局長）

貴重資料のデジタル化アーカイブ構築について

Q 図書館には貴重な郷土資料があるが、書庫にしまわれているものや痛みの進んでいるものがあり、いずれ失われた資料となる恐れがある。資料保護のため早期のデジタル化と情報発信のためインターネットで公開するアーカイブの構築が必要ではないか。

A 図書館収蔵の郷土資料は傷んでいるものも多く、将来について危惧しており、データ化の必要性は十分認識している。一方、資料のデジタル化を含む複製・公開については、著作権法に係る課題が多く、慎重に検討していきたい。（山下教育委員会事務局長）

交通体系の見直し再編について

Q 利用客の少ない地域での定期運行型バスは利便性が悪く財政負担が大きい。予約時のみ運行し、利便性を高めることができるデマンド型交通への移行やスクールバス統合が必要ではないか。

A スクールバスと路線バスの重複路線については、路線バスの1日平均利用者が7～10名と少なく、運行形態の見直しや検討方針の精査を行っていく必要がある。4月から市営バス若山線の運行状況を検証しながら、スクールバスと路線バスを統合した市営バス化という方針での見通しを進めていきたいと考えている。（泉谷市長）

濱野 隆三 議員
一括方式

農林水産業の支援について

Q 珠洲市における農地集積率を問う。また、今年度より、生産調整が廃止され、流通が減少する中で、過剰米となれば米価の下落も予想される中、小規模農家への支援について聞く。

A 農地集積率は平成29年3月末で、37・9％となっている。本市においては、耕作条件が不利な農地が多く、効率的な農作業ができないことから、担い手への農地集積が進まない状況にある。東京と大阪を除く45道府県で、主食用米の生産数量の目安が示されている。全国的には平成30年産米は前年並みの735万トンと、国が予想する適正な生産量となる見込みである。本市として、過剰生産による価格低下を招かないよう、石川県、JAと一体となって需要に見合う生産となるよう調整を図り、営農座談会で生産数量の目安をお示しした。一方で、水田活用の直接支払交付金を活用した畑作物の栽培を促進し、農業者の所得向上につなげたいと考えている。（泉谷市長）

Q ブランド化された園芸作物があるが、さらなる園芸作物に対する支援について聞く。

A 園芸作物については、各種補助メニューを活用して支援している。また、花き栽培センターにおける効率的な農業生産に向けた農家間の情報共有システムの構築を進めている。併せて、イタリア野菜ケールの試験栽培も実施し、若手農業者による新たな動きが生まれている。（泉谷市長）

番匠 雅典 議員
一括方式

地域振興基金の活用法について

Q すでに10億円以上の「地域振興基金」のお金が使われている。常々感じていることは、地域振興基金が使われている多くの施策が、一般財源で行われるべきものではなかったかということである。また、毎年使われているが、本当にその全てがここぞという時の施策なのか疑問を感じている。市民の皆さまはもちろん、当時の貝藏市長や職員の皆さん、深く関係した地域の皆さんのいろいろな苦労があって得ることができた「地域振興基金」である。そんな地域振興基金を使ってきた効果は、今現在出ているのか。珠洲市の地域振興がこの10億円を使ったことで躍進するようになっているようには到底思えない。ここぞという施策に使われ、何か効果をもたらしたのか。今現在ある17億円の地域振興基金を無駄に使わず、今後の珠洲市の活性化と雇用に関わる事業にぜひとも取り組んでいただきたい。

A これまで珠洲市の振興に資する事業を実施してきた。今後も珠洲市の創生に向けて有効に活用していきたいと考えている。（泉谷市長）

小泊　辰男 議員

一括方式

〈その他の質問〉
- 財政調整基金について
- 鉢ヶ崎ホテルにあるプールの有効活用における子育て環境の改善について
- 負担が増える国民健康保険について

市営バスについて

Q 今まで、「交通規制空白地域解消」や「市営バスの運行」など、幾度となく、この議場で取り上げ、質問してきた。しかし、答弁はいずれも「市独自でバスを運行するには、車両や運転手を確保する必要があり、予算的にも容易でない」とのことであった。すでに、既存の路線を守るため、赤字補てんをしている。そんな中、本当に市独自のバスを運行するのは難しいのか。小型のバスを購入し、市の嘱託で運転手を雇用すれば、安く、便利に、気軽に出かけられるシステムを作ることができるのではないのか。珠洲市の地域格差をなくすためにも、市内全域に市営バスを走らせるべきではないか。市長の考えを問う。

A 今後、運転免許証の保有者がさらに減少し、これまで以上に公共交通への必要性が高まってくるものと予想しており、交通弱者の皆さまへの対応がより具体的に求められてくるものと考えている。公共交通を短期間で劇的に転換することは現実的には困難で、持続的に運行できる仕組み作りを検討して行く必要があると考えている。（金田企画財政課長）

濱田　隆伸 議員

分割方式

〈その他の質問〉
- コンパクトタウンについて
- 企業誘致について

珠洲市の財政運営について

Q １２８億円の珠洲市の借金のうち、どれだけが珠洲市の実質的負担となるのか。

A 交付税措置される額は、合計１０５億円となっており、本市の実質的な負担額は約23億円となる。（金田企画財政課長）

子育て環境のアンケートについて

Q 市政懇談会などで市長へ直接というのはもちろん、担当課へ相談に行くこともできない、悩みを抱えてしまっている、子供のことを一番に思っているお母さん、お父さん、保護者の皆さんがたくさんいる。アンケートをとるなど、そういった声を見つけ出し、拾い上げることが必要であるように思うが対応を求める。

A 保育士や教職員が情報収集し、改善すべき事案については検討、実施している。（泉谷市長）

放課後児童クラブについて

Q 長期休み中の放課後児童クラブの改善について、市内の子ども達が一律で平等に利用できるよう検討実施されているのか。

A 支援員の確保が難しいことから、拡充は困難であると考えている。放課後子ども教室を進めるなかで、児童館のあり方や、活用についても検討を重ね、取り組みたい。（泉谷市長）

米田　幸助 議員

分割方式

芸術祭の経済効果について

Q ①算定の基本となる来場者数は、次回変わる可能性のある「4ブロックに分けて、ブロックごとの最大値の合計」ではなく、パスポート等の購入者数とするべきではないか。②結果として総消費額は水増しだ。計算をやり直すべきではないか。

A ①来場者の鑑賞行動の実態を反映した数値として、現在公表している推定来場者数を、直接効果算出の基礎とした。②日帰りリピーター数を考慮すれば、概ね適正な数値での算出方法と考えている。（金田奥能登国際芸術祭推進室長）

受動喫煙対策について

Q 政府が今国会提出予定の受動喫煙防止法案は、行政機関を原則禁煙としている。法案成立を待たず、市庁舎は全面禁煙とすべきではないか。

A 国の動向を注視し、適切に対応したい。（表総務課長）

学校現場の多忙化解消について

Q 文科省や県教委から取組方針が示された。市教委の対応を聞く。

A 定時退校日や夏季休業期間中のリフレッシュウィークの設定、週2日以上の中学部活動休養日の確保、部活動指導員のモデル配置などを予定している。（多田教育長）

北野　進 議員
分割方式

文化財の利活用について

Q 製塩用具と漆掻き道具の国指定重要文化財が収蔵されたまま閉館されている喜兵衛どんを、市が取得して公開し、観光や教材にも利活用すべきでは。

A 製塩用具は同様のものが現在も使われており、漆掻きの生業者はいないので、観光資源や教材としての価値は甚だ疑問であり、対応に苦慮している。（山下教育委員会事務局長）

Q 未指定文化財の調査リストの有無と古民家の文化財指定は。

A 調査リストは作成せず、高い文化的価値が確認されたものから順次指定する。古民家の指定には十分な議論が必要だ。（山下教育委員会事務局長）

これまでの成果と多選について

Q 「礎」から「勢」までの漢字8文字に込めた思いと成果は。また、総括としての自己評価は。

A それぞれの文字に見合った成果があった。昨年秋の奥能登国際芸術祭開催を起点に、市民の皆さまと共に新たな動きを生み出し、珠洲市の未来を切り拓いていきたい。（泉谷市長）

Q 多選の制限または自粛の条例制定意思は。

A 良し悪しを含め、民主主義の根幹である選挙で判断されることであり、条例化は考えていない。（泉谷市長）

大兼政 忠男 議員
一括方式

議会基本条例研修会開催

3月28日、伊万里市議会議員の盛泰子（もりやすこ）氏をお招きし、議会基本条例の研修会を開催しました。今回お招きした盛氏は元内閣府地域主権戦略会議委員で、平成27年5月から2年間にわたって伊万里市議会議長を務められた方です。研修会では、議会基本条例の制定や定例会終了後の正副議長による定例記者会見実施など、これまですすめてきた議会改革についての講演をしていただきました。

珠洲市議会では、これまで議会改革の方向性や取り組み項目について議論してきましたが、２０１４年、ある経済誌において全国の市議会改革度ランキングの最下位が珠洲市議会であると発表されたこともあり、新たに議会改革特別委員会を設置して実行に移してきました。主な取り組みは、議会だよりの発行、全議員で構成する予算常任委員会の設置、政務活動費の使途基準の明確化、一般質問形式の選択制などです。

今後も引き続き、議会としての役割や責務を果たすべく、議会基本条例や議員政治倫理条例などの制定に向け取り組んでいきます。

珠洲市議会だより

発行：珠洲市議会　編集：議会だより編集委員会
No.8　2018年5月1日発行

〒927-1295 石川県珠洲市上戸町北方1字6番地2
TEL 0768-82-7797　FAX 0768-82-7774
ホームページ　www.city.suzu.ishikawa.jp/gikai/shigikai.html

主な議会の動き

月	日	事　　項
2	13	第136回石川県市議会議長会定期総会
	19	議員全員協議会
		議会改革特別委員会
	27	議会運営委員会
		議員全員協議会
		平成30年第1回珠洲市議会3月定例会（開会）
3	1	議会運営委員会
		議会だより編集委員会
	6	平成30年第1回珠洲市議会3月定例会（質疑・一般質問）
	7	予算常任委員会
	8	予算常任委員会
	9	予算常任委員会
	13	各常任委員会
		議会運営委員会
		議員全員協議会
	16	議会運営委員会
		議員全員協議会
		平成30年第1回珠洲市議会3月定例会（閉会）
		議会運営委員会
	22	議会だより編集委員会
	28	珠洲市議会議員研修会
		議会だより編集委員会
4	3	議会改革特別委員会作業部会
	4	議会だより編集委員会
	10	議会改革特別委員会作業部会
	11	議会だより編集委員会
	16	議会改革特別委員会作業部会
	18	議会だより編集委員会
	24	議会改革特別委員会

御製　歌碑

御　製　（ぎょせい　天皇がお作りになった詩歌）

「珠洲の海に　放ちし鯛の　稚魚あまた　いづれの方を　今泳ぐらむ」

平成8年9月16日、天皇・皇后両陛下をお迎えし、「つなぐ手と　輝く心で　海づくり」をテーマに、第16回全国豊かな海づくり大会が、蛸島漁港を会場に開催されました。

式典で天皇陛下は、「本大会が、人々の海に対する関心を育み、豊かな海を目指して、広く協力し合う契機となることを願います」とお言葉を述べられ、皇后陛下とともに、マダイ、クロダイ、ヒラメの稚魚を放流されました。

御製は、この時のご印象を天皇陛下がお詠みになられたものです。

この碑は天皇・皇后両陛下の行幸啓を記念するとともに、この大会を契機に水産資源の維持培養と海の環境保全に努め、恵み豊かな海を次世代に引き継ぐことを誓って、平成9年9月蛸島漁港（正院町川尻地内）うじま公園に建立されました。

（表紙写真）

ご案内

第2回珠洲市議会6月定例会

本会議日時	議事内容
6月19日(火) 15時～	開会、市長提出議案一括上程・説明、請願常任委員会付託
6月26日(火) 10時～	質疑・一般質問、議案等常任委員会付託
7月4日(金) 15時～	各常任委員会審査結果報告、質疑・討論、議案・請願等採択、閉会

お知らせコーナー

傍聴してみませんか

本会議は公開され、自由に傍聴できます。本会議当日に、市役所西側5階で受付してください。

インターネットでも視聴できます

珠洲市議会では、本会議の審議状況を市のホームページに映像配信（生中継）しています。また、過去の議会の録画映像も配信しています。

珠洲市議会ホームページ

身近で開かれた市議会を目指し、ホームページでさまざまな情報を公開しています。市議会の役割や仕組み、議員や委員会の紹介、議会日程、議会だよりなど掲載しています。ぜひご利用ください。

珠洲市議会　検索

編集あとがき

平成28年8月1日に創刊号を発刊し、この度、第8号となりました。これまで紙面の表紙は市内の石碑シリーズとし、ベストショット求め、担当委員は何度も現地へ足を運び撮影を行いました。また、5人の委員全員が手探り状態から議論を重ね、市民の皆さまへ議会の様子や活動をわかりやすくお伝えするため、紙面づくりに取り組んでいます。今後ともご愛読のほどお願いします。

編集委員長　向山　忠秀

議会だより編集委員会

委員長	向山　忠秀
副委員長	大兼　政忠
委員	米田　幸男
〃	濱野　隆助
〃	番匠　雅典